



## 平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社アクリート 上場取引所 東  
 コード番号 4395 URL <https://www.accrete-inc.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 彰浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 ビジネスサポート部 (氏名) 立山 耕司 TEL 03-5433-0589  
 門ゼネラルマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年12月期第3四半期の業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	934	—	162	—	143	—	97	—
29年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	19.91	18.53
29年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成29年12月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、平成29年12月期第3四半期の数値及び平成30年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。  
 3. 当社は平成30年7月26日に東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場したため、平成30年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成30年12月期第3四半期会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	930	771	82.8
29年12月期	433	192	44.2

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 769百万円 29年12月期 191百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年12月期の業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,390	46.4	220	28.3	201	17.5	130	16.1	25.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成30年12月期（予想）の1株当たり当期純利益は、平成30年8月28日付で払込が完了したオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（普通株式138,000株）を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	5,438,000株	29年12月期	4,800,000株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	－株	29年12月期	40,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	4,911,692株	29年12月期3Q	－株

- (注) 1. 当社は、平成30年3月1日付で普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。
2. 当社は、平成29年12月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年12月期第3四半期における期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料2ページ「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境に改善傾向が見受けられ、全体的には緩やかな回復基調が続いておりますが、米中貿易摩擦の動向が世界経済に与える影響や、金融資本市場の大幅な変動による影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

SMS配信サービス業界におきましては、SMS配信サービスの認知度が向上し、企業と個人の間でのコミュニケーション手段としてSMSの有用性を再認識する企業の増加に伴い、SMS配信市場は急速な広がりをみせております。

このような状況の中、当社は国内の携帯電話事業者3社との直接回線接続、大量配信に耐えうるSMS配信システムなどから海外SMSアグリゲーター、IT企業、コールセンター、人材サービス会社等からの支持を受け、業界内でのポジションを確立しております。

当第3四半期累計期間におきましては、市場の拡大を受け、IT、人材サービス等の既存業界だけでなく、仮想通貨取引所や配車アプリなど新たな業界の開拓に注力するなど、当社のサービスをご利用いただける新規顧客に対して積極的な営業活動を展開いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間のSMS配信数は263百万通(対前年比58.0%増)、売上高は934,382千円、営業利益は162,069千円、経常利益は143,571千円、四半期純利益は97,810千円となりました。

なお、当社はSMS配信サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の財政状態は、前事業年度末に比べて、公募増資等による資金調達等により純資産が578,105千円増加し、財政状態は良好な状態で推移しております。

資産、負債、純資産別の財政状態は以下のとおりです。

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて496,474千円増加し930,014千円となりました。これは主に現金及び預金の増加500,190千円によるものです。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて、81,630千円減少し158,970千円となりました。これは主に未払法人税等の納付等による減少43,882千円、買掛金の減少33,573千円によるものです。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて、578,105千円増加し771,044千円となりました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加97,810千円及び公募増資等に伴う資本金225,979千円、資本準備金225,979千円の増加によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年7月26日の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	223,106	723,297
売掛金	141,932	129,525
未収消費税等	28,794	32,749
その他	8,491	10,371
流動資産合計	402,326	895,944
固定資産		
有形固定資産	5,272	4,966
無形固定資産	17,479	21,568
投資その他の資産		
破産更生債権等	4	—
貸倒引当金	△4	—
その他	8,462	7,535
投資その他の資産合計	8,462	7,535
固定資産合計	31,213	34,070
資産合計	433,539	930,014
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	142,981	109,407
1年内返済予定の長期借入金	10,176	10,176
賞与引当金	—	2,283
未払法人税等	60,461	16,578
その他	11,034	12,207
流動負債合計	224,653	150,654
固定負債		
長期借入金	15,948	8,316
固定負債合計	15,948	8,316
負債合計	240,601	158,970
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,000	255,979
資本剰余金	—	249,815
利益剰余金	166,340	264,151
自己株式	△4,500	—
株主資本合計	191,840	769,946
新株予約権	1,098	1,098
純資産合計	192,938	771,044
負債純資産合計	433,539	930,014

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	934,382
売上原価	618,156
売上総利益	316,226
販売費及び一般管理費	154,157
営業利益	162,069
営業外収益	
受取利息	2
還付加算金	71
営業外収益合計	74
営業外費用	
支払利息	306
為替差損	2,747
株式公開費用	15,517
営業外費用合計	18,571
経常利益	143,571
税引前四半期純利益	143,571
法人税、住民税及び事業税	43,641
法人税等調整額	2,119
法人税等合計	45,760
四半期純利益	97,810

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年7月26日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、平成30年7月25日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による増資により払込みを受けました。さらに、平成30年8月28日を払込期日とする第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期会計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ225,979千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が255,979千円、資本準備金が225,979千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、SMS配信サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。